

公式記録

(社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

平成22年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会

準決勝 【 37 】

主審
署名

内橋 克博

日時	2010年11月3日(水) 11:00 キックオフ			会場	アスパ五色 メイングラウンド						
天候	晴れ	風	微風	ピッチ	(天然芝・人工芝・クレ-		状態	良好	試合形式	80分 / 延長 20分 / PK戦有	

マチミツコナ	辺見 康裕		会場主任	堀口 泰司		記録	岡本 進司 / 菅原 正裕		観衆	500人	
主審	内橋 克博		副審1	松山 典章		副審2	山崎 隆史		第4の審判員	吉本 忠義	

チーム名	kick off				1 前半	0	チーム名				
滝川第二高校				4	3 後半	2	県立伊丹高校				
					延前						2
					延後						
					PK戦						
				選手番号	P	選手番号					
				○× 先	K	先 ○×					
					戦						

交代		シュート				選手名 (学年)		番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)		シュート				交代	
No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半								前半	後半	延前	延後	OUT時間	No.	
	分					下出 晃輔	3年	1	GK	GK	1	花田 大樹	3年					分	
	分			1		島 秀行	3年	2	DF	DF	5	橘高 秀和	3年					分	
	分					亀岡 淳平	2年	5	DF	DF	16	桶本 大介	3年		1			分	
	分					高原 真峰	3年	3	DF	DF	6	林田 孝祐	2年					分	
	分					濱田 量也	3年	14	DF	DF	8	寺西 元輝	1年		1			分	
66	分					白岩 涼	3年	13	MF	MF	10	武市 蓮	3年	1	1			分	
	分					香川 勇気	3年	15	MF	MF	17	陸野 秀	3年	1	1			分	
	分				1	谷口 智紀	3年	7	MF	MF	21	西原 裕太	2年		1			74	分
	分			2	1	本城 信晴	3年	9	MF	MF	18	川村 拓央	2年		1			80	分
59	分			1	1	浜口 孝太	3年	11	FW	FW	9	垂水 健悟	3年	1				分	
78	分			1	4	樋口 寛規	3年	10	FW	FW	11	稲垣 圭	3年	1				分	
	分					中尾 優輝矢	3年	12	GK	GK	23	名取 裕太	2年					分	
	分					河田 宏平	3年	20	DF	GK	12	久徳 和貴	2年					分	
	分					佐々木 慎太郎	1年	18	DF	MF	15	藤村 駿	1年					分	
	分					平田 雄紀	2年	8	DF	DF	2	太田 裕貴	2年					分	21
	分					酒匂 竜馬	3年	6	MF	FW	20	藤井 拓也	1年					分	18
13	分					患 龍太郎	2年	16	MF	MF	7	十川 倫典	2年					分	
	分					筒井 亮磨	2年	24	MF	DF	19	大串 聡輝	1年					分	
11	分			1		田中 永遠	3年	19	FW	MF	22	武田 稜一朗	2年					分	
10	分					常峰 雅文	3年	17	FW	MF	14	山下 勇次	2年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由	
分					13			6	7	シュート	4	6			10	70	分	警告	18	川村 拓央	ラフ
分					17			11	6	GK	7	2			9	79	分	警告	5	橘高 秀和	ラフ
分					2			0	2	CK	1	2			3	分					
分					12			8	4	直接FK	5	10			15	分					
分					10			1	9	間接FK	2	0			2	分					
分					0			0	0	PK	0	0			0	分					

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過]	略号例:ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS
	24	滝川第二		オウンゴール	1-0	左 ⑬ ~ → 中央 OG	
	47	滝川第二	11	浜口	2-0	右 ⑦ ○ 中央 ⑪ HS	
	56	滝川第二	9	本城	3-0	左 ⑩ ~ S ポスト はね返り 中央 ⑨ ~ S	
	60	県伊丹	17	陸野	3-1	中央 ⑨ → ⑰ S	
	77	滝川第二	9	本城	4-1	中央 ⑩ → ⑨ ~ S	
	80+1	県伊丹	16	桶本	4-2	右 CK ⑩ ○ 中央 ⑯ HS	
	分				-		
分				-			
分				-			
分				-			

戦評者 所属【 加古川西・小野 】 氏名【 有馬・笠原 】

絶好の天候・ピッチコンディションのもと、滝川第二は4-4-2、県伊丹は、4-3-3でスタートした。前半滝川第二は、集中したディフェンスから2トップにボールを入れサイドに展開し攻撃を組み立て、県伊丹は中央をしっかり固め⑨垂水を中心に攻撃を組み立てるという展開であった。緊迫したゲーム展開のなか、前半24分滝川第二のサイドからのクロスで県伊丹のDFがクリアミスしオウンゴールした。

後半に入り、立ち上がりから滝川第二のサイド攻撃が続き、県伊丹が押し込まれる展開になり、47分、56分とゴールが生まれた。その後、県伊丹がテンポの良いパス回しをきっかけに、攻勢に出て60分左サイドからの崩しによりゴールを挙げた。このゴールをきっかけに県伊丹の流れになるが、滝川第二⑩樋口の絶妙なスルーパスから⑨本城がゴールを奪った。この後、一進一退の攻防が続き、県伊丹がコーナーキックから1点を奪ったが反撃及ばず、滝川第二が勝利した。前半は、お互い慎重なゲーム運びであったが、後半は互いの特徴を生かし一進一退の攻防が続き見応えのある準決勝にふさわしい好ゲームであった。

[備考]